

平成25年度香取市の財務書類4表（概要版）

1. はじめに

地方公共団体の会計については、以前より、単年度の現金収支にかかる財政指標だけでなく、市が保有する資産や将来返済しなければならない負債などのストック情報をはじめ、行政サービスを実施するために要した費用など、財政状況を総合的かつ長期的に把握し、その状況をより明確にするため、企業会計的手法の導入が求められていました。

このような状況のなか、平成18年8月に総務省から「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が示され、各地方公共団体は、財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）と、関係する情報の開示に取り組むこととなりました。

また、この財務書類の整備の目的は、単に書類を作成・公表するだけでなく、市民等に対し、財政状況を適切に情報開示することや、庁内における行財政運営に活用する仕組みを併せて検討・実施することにあるといわれています。

香取市では、平成19年10月に国（総務省）が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」の『総務省方式改訂モデル』に基づき、財務書類4表を作成しました。

2. 香取市の普通会計財務書類4表

(1) 貸借対照表（バランスシート）

H26.3.31現在(単位:千円)

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額			
[資産の部]			[負債の部]					
1	公共資産	93,862,653	39,242	1	固定負債	44,301,732	1,533,055	
2	投資等	9,333,990	△ 431,953	2	流動負債	3,555,473	266,716	
3	流動資産	11,719,627	1,141,383	負債合計		47,857,205	1,799,771	
			[純資産の部]					
			純資産合計		67,059,065	△ 1,051,099		
資産合計			114,916,270	748,672	負債・純資産合計		114,916,270	748,672

- 資産総額は約1,149億円、負債総額は約479億円で、純資産総額は約671億円です。
- 資産については、公共資産において大きな増減はありません。投資等においては、特定目的基金の減少により約4億円減額しましたが、流動資産で財政調整基金の積立て等により約11億円増加したことから、資産合計で約7億円の増となっています。
- 負債総額については、固定負債で公共施設整備に費やした地方債（合併特例債等）が増えた影響により、約18億円の増となっています。
- 純資産については、固定負債等の増加により約11億円減少しています。
- 市民一人当たりになると、資産は約141万円、負債は約59万円となっています。

※人口は、平成26年3月31日現在の81,647人を使用（以下同じ）。

(2) 行政コスト計算書

H25.4.1～H26.3.31(単位:千円、%)

区分	平成25年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率(%)	構成比(%)
経常行政コスト a	27,544,863	1,701,880	6.6	
1 人にかかるコスト	5,000,170	△ 632,671	△ 11.2%	18.2
2 物にかかるコスト	6,363,214	188,704	3.1	23.1
3 移転支出的なコスト	14,848,322	1,349,289	10.0	53.9
4 その他のコスト	1,333,157	796,558	148.4	4.8
経常収益 b	741,235	△ 52,491	△ 6.6	
使用料・手数料等	741,235	△ 52,491	△ 6.6	
純経常行政コスト a-b	26,803,628	1,754,371	7.0	

- 経常行政コストは約275億円、経常収益は約7億円で、純経常行政コストは約268億円です。
- 経常行政コストは移転支出的なコスト（扶助費、補助費、繰出金等）が約148億円と全体の53.9%を占め、次いで、物にかかるコスト（物件費、維持補修費、減価償却費等）が約64億円で23.1%となっています。
- 人にかかるコストにおいては、職員人件費が減ったこと等により約6億円の減となっており、物にかかるコストでは減価償却費が増加したこと等から、約2億円の増となっています。移転支出的なコストでは、香取広域市町村圏事務組合への施設整備負担金が増加したこと等から約13億円増となり、その他コストについても債務負担行為の長期未払い金が増えたこと等により約8億円の増となり、経常行政コスト全体では約17億円の増となっています。
- 市民一人当たりの純経常行政コストは、約33万円となっています。

(3) 純資産変動計算書

H25.4.1～H26.3.31(単位:千円)

区分	金額
期首純資産残高	68,110,164
純経常行政コスト	△ 26,803,628
一般財源	20,854,974
うち地方税	8,459,007
うち地方交付税	9,691,993
うちその他	2,703,974
補助金等受入	7,432,031
資産評価替えによる変動額	△ 1,004
その他	△ 2,533,472
期末純資産残高	67,059,065

(4) 資金収支計算書

H25.4.1～H26.3.31(単位:千円)

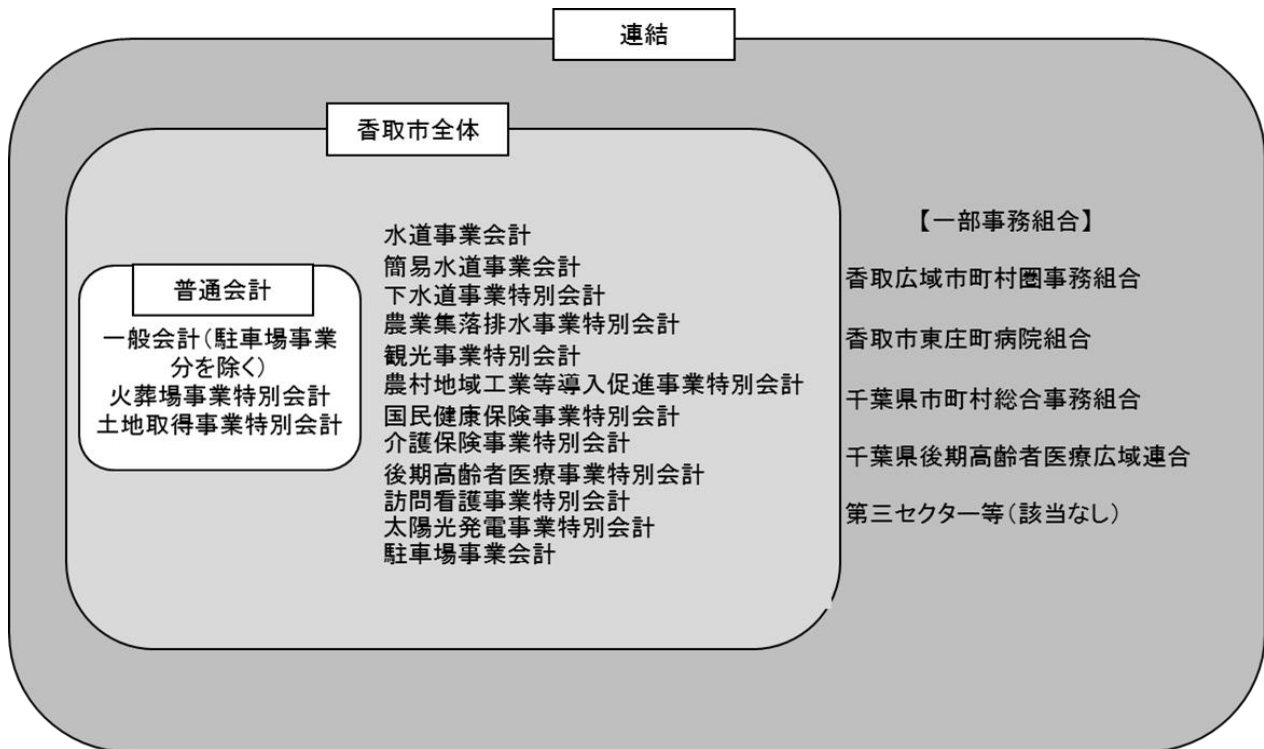
区分	金額
1 経常的収支額	6,466,312
2 公共資産整備収支額	△ 1,097,998
3 投資・財務的収支額	△ 6,073,887
当年度歳計現金増減額	△ 705,573
期首歳計現金残高	3,761,854
期末歳計現金残高	3,056,281

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。平成25年度の期末残高は、純経常行政コストが増えたこと等から、約11億円の減となっています。
- 資金収支計算書は、現金ベースで1年間の資金の流れ（フロー）を表しています。平成25年度は、地方債償還額が増加したこと等から、期末歳計現金残高が約7億円の減となっています。

3. 香取市の連結財務書類

連結財務書類は、普通会計に、水道や国民健康保険などの特別会計と、市が加入している一部事務組合を含めています。

《香取市における平成25年度の連結対象範囲》



連結貸借対照表 (バランスシート)

H26.3.31現在(単位:千円)

借 方		対前年度 増 減 額	貸 方		対前年度 増 減 額
[資産の部]			[負債の部]		
1 公共資産	151,208,976	3,454,217	1 固定負債	68,228,367	1,604,416
2 投資等	8,013,469	△ 525,245	2 流動負債	6,230,441	329,136
3 流動資産	15,539,546	1,258,982	負債合計	74,458,808	1,933,552
4 繰延資産	275,796	219,975	[純資産の部]		
資産合計	175,037,787	4,407,929	純資産合計	100,578,979	2,474,377
			負債・純資産合計	175,037,787	4,407,929

- 資産総額は約1,750億円、対する負債総額は約745億円で、純資産総額は約1,006億円です。
- 市民一人当たりによると、資産は約214万円、負債は約91万円となっています。
普通会計一人当たりと比較すると、資産で約74万円、負債で約33万円それぞれ増加しています。